

いのちビジョンの概要

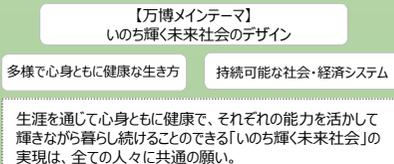
◆ いのち輝く未来社会をめざすビジョンの策定（2018年3月）

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の理念を先取りした施策の推進を図るため、オール大阪で取組みを進めるアクションプランとして、2018年3月に「いのち輝く未来社会をめざすビジョン」を策定。

背景

◆ 万博のインパクトを活かして、課題解決に向けた取組を加速化

万博誘致が閣議了解されたことを踏まえ、万博誘致の実現をめざして、大阪府万博誘致推進本部を設置し、機運醸成の取組を展開するとともに、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の理念を先取りした府施策の推進を図ることとした。



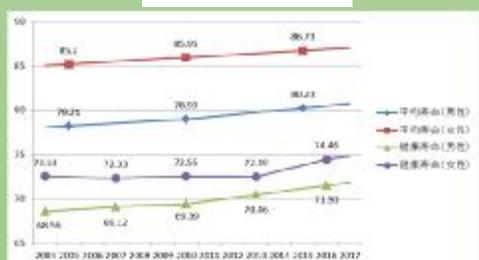
◆ 人口減少・少子高齢化などの社会の急激な変化（世界でも類を見ない超高齢化、3大都市圏でもいち早く人口減少）

こうした変化に対して、大阪ではこれまでも様々な取組を積み重ねてきた。
⇒ 健康寿命は、依然として全国ワーストクラス、伸び悩みは大きな課題。
⇒ 府、市町村だけでなく、民間企業・団体、大学・研究機関、住民など様々な主体の取組が必要。

【生産年齢人口・高齢者人口】



【大阪府の健康寿命・平均寿命】



◆ 考慮すべき世界の流れ

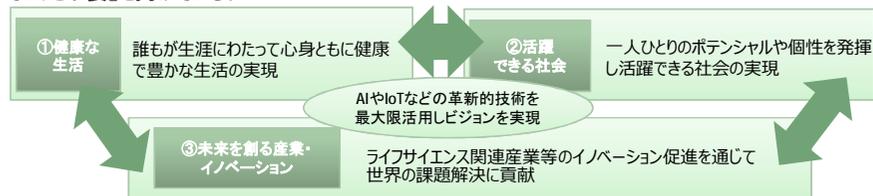
- ・ 超スマート社会の到来（新たな技術が、人々の生活、社会・経済システムに多くの革新をもたらす視点）
- ・ SDGs（貧困や環境、産業に関する取組を一步一步進め、世界をより良い方向に変えていく視点）

【目標】

- ① 健康を重点ターゲットに「健康寿命の延伸」
- ② 地域の健康づくり活動に加え、革新技術を活用し、さらに2025年万博のインパクトを活かして、いきいきと長く活躍できる「10歳若返り」

【3つのめざす姿】

目標の達成に向け万博のテーマを踏まえ、SDGsや超スマート社会などの世界的な潮流を考慮して、「①健康な生活」、「②活躍できる社会」とそれを支える「③産業・イノベーション」について、オール大阪で『めざす姿』を掲げている。

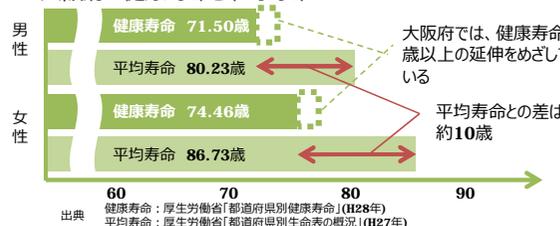


10歳若返りの概要

10歳若返りとは、健康寿命の延伸に加え、健康状態に応じて、誰もが生涯を通じ、自らの意思に基づき活動的に生活できることである。

⇒ 大阪・関西万博が開催される2025年に向けて、健康寿命を延ばすことに加え、健康に影響があってもいきいきと活動できるようにすることで、10歳の差を限りなく縮めていく。

大阪府の健康寿命と平均寿命



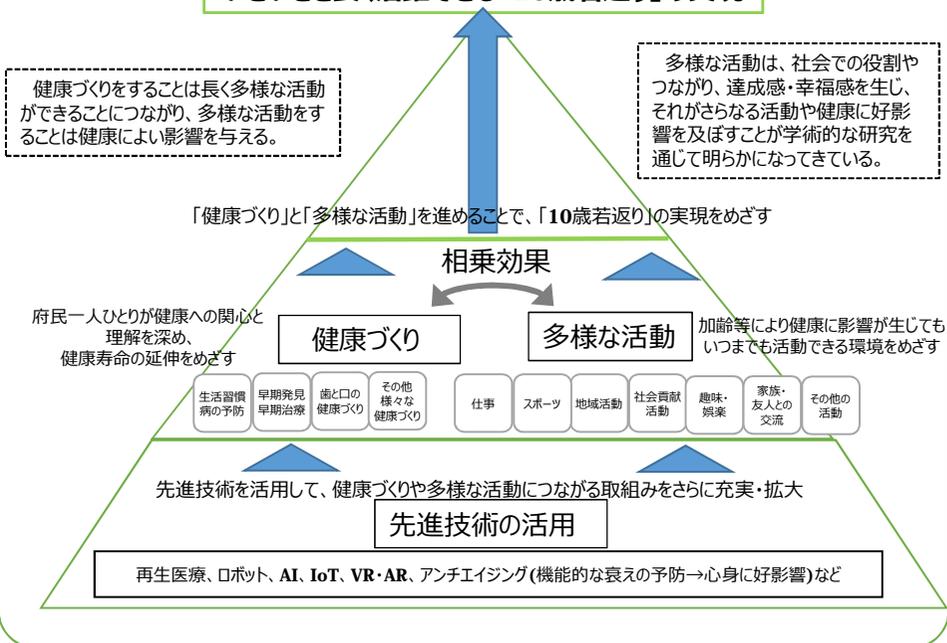
10歳若返りの実現に向けては・・・

- ① 健康上の問題で日常生活に影響のない期間を示す健康寿命を延伸するとともに、
- ② 加齢等により健康に影響が生じても、生涯を通じて多様な活動を続けられるようにしていくことが重要。

- ・ 健康寿命の定義は、日常生活に制限のない期間の平均。
- ・ 国民生活基礎調査の「現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」という質問に対し、「ある」の回答を不健康な状態として算出。
- ・ 大阪府の健康寿命は、全国（男性72.14歳、女性74.49歳）と比較して男女とも短い。（男性：39位、女性：34位）

これまでの予防や医療の取組みにとどまらず、新たな知見・研究結果、広範なデータの収集・分析や先進技術も活用

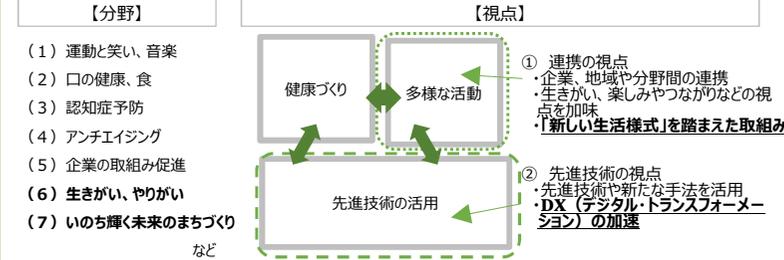
いきいきと長く活躍できる「10歳若返り」の実現



10歳若返りの取組みの現状

・「10歳若返り」を進めるため、6つの柱となる取組みの分野を定め、モデル事業に取り組み展開していくこととした。
 ・モデル事業の実施においては、連携の視点及び先進技術の視点を加味して進めることとし、大学、市町村、企業等と調整の上、有識者の協力のもと効果検証、エビデンスの蓄積により取組みの充実・拡大に向けて、取り組んできた。

【10歳若返りの取組みの分野と視点】



今後の取組みにあたっての課題

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント自粛やテレワーク・オンライン会議の推奨など府民生活や企業活動に大きな影響が生じている。
 ・ワクチンや有効な治療薬が開発されるまでの間、影響は今後も続くと考えられることから、取組みの推進にあたっては、従前のような人を集めた取組みや効果検証の手法について見直しを行い、コロナとの共存を前提に、「新しい生活様式」を取り入れ、推進していくことが求められる。
 ・さらに、コロナ後の社会変容を見据え、「新しい生活様式」に加え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速など、戦略的に取組みを展開し、2025年の大阪・関西万博につなげていく必要がある。

withコロナ下での10歳若返りの取組推進

